

第21回分析センターワークショップ°

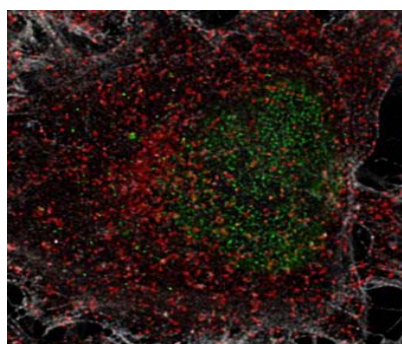
超解像レーザー顕微鏡

【日時】 2014/10/06～10/10 10:00～17:00
【場所】 九州大学伊都キャンパス・ウエスト3号館110室
【主催】 中央分析センター伊都分室
【デモ機】 Leica TCS SP8 STED3X
(協力：ライカマイクロシステムズ株式会社)

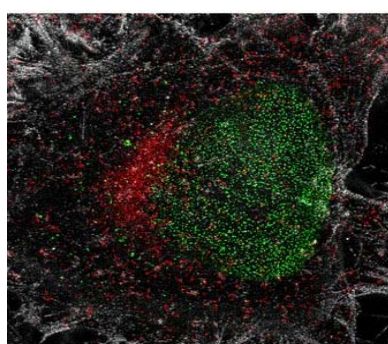
従来は電子顕微鏡を用いて観察していた極めて微細な細胞内小器官や構造を超解像レーザー顕微鏡により生きた細胞下に置いて観察することが可能です。今回のワークショップでは実機を1週間かけてセッティングし、現地でその性能を発揮できるように準備します。実サンプル測定が可能ですのでこの機会を是非ご活用下さい。

【特徴】

- ・X Y分解能：50nm以下、Z分解能：130nm以下
- ・STED(Stimulated Emission Depletion 誘導放出抑制) 顕微鏡システムで、従来の光学顕微鏡の回折限界を克服し超解像イメージングを実現
- ・3種のSTEDレーザーで細胞のマルチカラー超解像イメージングが可能



Confocal



STED

HeLa細胞の三重免疫染色
Green: NUP153-Alexa 532.
Red: Clathrin-TMR.
White: Actin-Alexa 488.

【サンプル測定申込要領】

事前申し込みが必須となります。測定申込書がお手元にはない場合はメールでご請求ください。
中央分析センター伊都分室・渡辺 TEL:092-802-2857 FAX:092-802-2858
watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp

【装置、サンプルに関する問い合わせ先】

ライカマイクロシステムズ株式会社福岡セールスオフィス・堀 TEL: 092-282-9771 FAX: 092-282-9772
taisuke.hori@leica-microsystems.co.jp